

成果指標				
成果指標	参加人数			
指標設定の考え方	健康まつりに参加することにより、健康に対する意識を高めてもらうことを目的としているため、参加人数を指標とする。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	3000	3000	0	0
実績	3000	2000	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	健康意識の高揚には重要な事業である。「自分の健康は自分で守る」ことを実践していくための動機付けの機会となるような事業展開が必要である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	市民の健康保持増進及び医療費抑制のために必要な事業であり、今後は、従来のいよし健康&福祉まつりを見直して、物販目的のイベントを廃止し、健康管理と健康意識の向上を特に力を入れた事業として開催することに方向転換して、魅力のあるテーマで継続的に健康推進を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	次年度から、イベント的の事業であった「健康まつり」を廃止し、健康意識の高揚を図る「健康フォーラム」として事業を推進する。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。